平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名　明治機械株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6334　URL　http://www.meiji-kikai.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 高橋　豊三郎
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 高工　弘　TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日　平成24年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,527	△48.7	43	△76.4	45	△76.3	33	△81.4
24年3月期第1四半期	2,980	△29.5	185	―	192	―	180	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　25百万円　(△86.3%)　24年3月期第1四半期　188百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.54	―
24年3月期第1四半期	18.99	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,734	4,259	48.8
24年3月期	9,320	4,234	45.4

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　4,259百万円　24年3月期　4,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,635	△28.6	107	△66.9	105	△64.9	79	△72.4	8.33
通期	7,353	△11.9	278	△17.5	269	△30.7	211	△58.2	22.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	9,502,636 株	24年3月期	9,502,636 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	14,200 株	24年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	9,488,436 株	24年3月期1Q	9,488,514 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年６月30日）における経済情勢は、欧州では債務問題の長期化による景気低迷が続き、米国では雇用問題の改善の遅れなどから景気回復ペースが鈍化しております。また、これまで世界経済を牽引してきた中国でも成長が減速しています。一方、国内経済は、東日本大震災からの復興需要により一部に景気回復の兆しが見られましたものの、長期化するデフレや円高に加え、株安、雇用情勢・個人消費の低迷が継続しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社及び当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、ＣＳ（顧客満足）を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。当期は、当社の第３次中期経営計画の最終年に当たり、この計画に基づく経営改善諸施策を強力に推進しております。この結果として、これら諸施策が確実に業績向上へと繋がってまいりました。

このような中で、当社グループの連結売上高は、当社の大型プラントの工事進行基準による売上などがありましたが、1,527百万円（前年同期比48.7%減）となりました。前年同期には、特需として飼料会社等の震災復興工事に係る売上がありました。

また、損益面に関しましては、一部の連結子会社の業績低下はありましたが、営業利益43百万円（前年同期比76.4%減）、経常利益45百万円（前年同期比76.3%減）、四半期純利益33百万円（前年同期比81.4%減）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

〔産業機械関連事業〕

製粉業界は、本年４月には輸入小麦の政府売渡価格の平均15%の引下げがあったことから、各製粉会社は業務用小麦粉の価格改定を行っており、ふすま価格の低迷や諸費用等の増加、販売競争や消費者の低価格志向などにより、引き続き厳しい事業環境下で推移した模様であります。また、大手製粉会社では、将来に向けたコスト競争力強化のため、最新鋭の製粉工場を建設中であります。

一方、飼料業界は、現在は米国の熱波による穀物の収穫量減少及び穀物相場の高騰が懸念されておりますが、当第１四半期連結累計期間のとうもろこし価格が、米国産の順調な生育が見込まれたことなどから値下げを実施しました。しかしながら、南米の干ばつによる大豆相場が大幅に上昇、このような原料状況を反映し、各飼料会社は本年４月に配合飼料価格の値上げを行いましたが、前年同四半期の販売価格を下回り、加えて東日本大震災の影響も残る中で、依然厳しい事業環境にありました。

このような状況の中、売上高につきましては、牛用配合飼料設備拡充工事（工事進行基準適用）などの各種飼料設備工事のほか、その他主力製品のロール機、ピューリファイヤー、シフター、精選諸機械などに、連結子会社株式会社東京製粉機製作所の売上が加わり、売上高は1,515百万円（前年同期比48.9%減）となりました。損益面に関しましては、大型プラントをはじめとする予算管理の徹底や経費削減に努めましたが、一部の子会社の業績悪化があり、営業利益は34百万円（前年同期比80.2%減）となりました。

〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高12百万円（前年同期比16.4%減）、営業利益９百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産に関する状況

①資産

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は8,734百万円となり、前連結会計年度末に比較して585百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が116百万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が684百万円減少したことなどによるものであります。

②負債

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は4,474百万円となり、前連結会計年度末に比較して611百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が160百万円、短期借入金が175百万円、前受金が169百万円、長期借入金が129百万円減少したことなどによるものであります。

③純資産

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は4,259百万円となり、前連結会計年度末に比較して25百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が33百万円、為替換算調整勘定が28百万円増加したのに対し、その他有価証券評価差額金が36百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年５月14日の決算短信において公表いたしました平成25年３月期の連結業績予想に変更はありません。また、同様に個別業績予想についても変更はありません。

＜参考＞

業績予想数値（平成24年５月14日公表）　（単位：百万円）

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	第２四半期(累計)	3,635	107	105	79
	通期	7,353	278	269	211
個別	第２四半期(累計)	2,810	88	86	80
	通期	5,877	220	261	251

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,835,916	1,952,554
受取手形及び売掛金	3,009,634	2,325,469
商品及び製品	302,825	310,994
仕掛品	1,782,277	1,755,347
原材料及び貯蔵品	81,909	91,132
その他	135,912	161,251
貸倒引当金	△1,257,090	△1,256,362
流動資産合計	5,891,385	5,340,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	379,528	379,070
機械装置及び運搬具（純額）	241,250	254,616
土地	1,500,619	1,500,619
その他（純額）	52,674	43,858
有形固定資産合計	2,174,074	2,178,165
無形固定資産		
のれん	4,975	2,522
その他	49,837	48,485
無形固定資産合計	54,812	51,008
投資その他の資産		
投資有価証券	1,128,657	1,091,509
その他	133,507	135,919
貸倒引当金	△62,416	△62,416
投資その他の資産合計	1,199,748	1,165,012
固定資産合計	3,428,635	3,394,186
資産合計	9,320,021	8,734,573
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,174,968	2,014,083
短期借入金	932,314	757,064
未払法人税等	1,017	10,082
前受金	312,697	143,398
賞与引当金	17,709	12,120
工事損失引当金	1,909	1,476
その他	121,706	133,974
流動負債合計	3,562,321	3,072,199
固定負債		
長期借入金	1,094,178	964,662

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
退職給付引当金	163,374	171,399
資産除去債務	19,698	19,698
その他	246,333	246,763
固定負債合計	1,523,585	1,402,523
負債合計	5,085,906	4,474,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651,112	4,651,112
利益剰余金	△349,496	△315,915
自己株式	△8,941	△8,941
株主資本合計	4,292,674	4,326,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,886	△44,146
為替換算調整勘定	△50,673	△22,258
その他の包括利益累計額合計	△58,559	△66,404
純資産合計	4,234,114	4,259,850
負債純資産合計	9,320,021	8,734,573

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	2,980,121	1,527,532
売上原価	2,520,959	1,235,713
売上総利益	459,162	291,818
販売費及び一般管理費	273,460	248,011
営業利益	185,701	43,807
営業外収益		
受取利息	46	28
受取配当金	12,573	9,720
持分法による投資利益	14,108	－
その他	6,255	3,575
営業外収益合計	32,984	13,324
営業外費用		
支払利息	20,344	9,710
持分法による投資損失	－	888
為替差損	899	－
その他	4,541	818
営業外費用合計	25,785	11,417
経常利益	192,900	45,715
特別利益		
固定資産売却益	199	－
特別利益合計	199	－
税金等調整前四半期純利益	193,100	45,715
法人税、住民税及び事業税	20,182	14,026
法人税等調整額	△5,419	△1,892
法人税等合計	14,762	12,133
少数株主損益調整前四半期純利益	178,337	33,581
少数株主損失（△）	△1,815	－
四半期純利益	180,153	33,581

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	178,337	33,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,886	△36,259
為替換算調整勘定	16,503	28,414
持分法適用会社に対する持分相当額	325	－
その他の包括利益合計	9,942	△7,845
四半期包括利益	188,279	25,736
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,043	25,736
少数株主に係る四半期包括利益	△1,764	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額（千円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注）２
	産業機械関連事業（千円）	不動産関連事業（千円）	計（千円）		
売上高					
外部顧客への売上高	2,965,490	14,631	2,980,121	－	2,980,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	300	300	△300	－
計	2,965,490	14,931	2,980,421	△300	2,980,121
セグメント利益	174,007	11,750	185,758	△56	185,701

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額（千円）	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注）
	産業機械関連事業（千円）	不動産関連事業（千円）	計（千円）		
売上高					
外部顧客への売上高	1,515,302	12,230	1,527,532	－	1,527,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	285	285	△285	－
計	1,515,302	12,515	1,527,818	△285	1,527,532
セグメント利益	34,500	9,306	43,807	－	43,807

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。